

① **研究課題名**：心房性不整脈に対するカテーテルアブレーション後における心房抗頻拍ペーシング機能付ペースメーカーの効果に関する検討

② **研究の目的**：

脈が異常に速くなる心房細動や心房頻拍（心房性頻脈性不整脈）は、脳梗塞や心不全の原因とされており、カテーテルアブレーションという治療が行われます。一方、脈拍が異常に遅くなる不整脈（徐脈性不整脈）もあり、徐脈性不整脈の治療にはペースメーカーが植え込まれます。徐脈性不整脈の方の3分の1は、心房性頻脈性不整脈も合併するため、近年、心房性頻脈性不整脈を治療する機能（心房抗頻拍ペーシング：A-ATP）を持つペースメーカーが使用されるようになりました。しかし、このA-ATP機能付きのペースメーカーを植え込んだ場合に、心房性頻脈性不整脈の主治療であるカテーテルアブレーションも合わせて行った方が良いか否かについては明らかになっていません。本研究では、以前A-ATP機能付きペースメーカーを植込まれた方について、カテーテルアブレーションを合わせて受けられた方と受けられていない方とを比較し、その治療効果に違いがあるかを検証することを目的としています。

③ **研究期間**：西暦 2019年 9月 ～ 2022年6月25日

④ **研究代表者及び研究実施施設**

研究代表者：名古屋市立大学 心臓・腎高血圧内科学 中須賀公亮

研究実施施設：名古屋市立大学 心臓・腎高血圧内科学
名古屋市立東部医療センター
豊川市民病院

⑤ **研究の対象**：

西暦 2007年 4月 1日から 2019年 3月 31日までの間に、名古屋市立東部医療センター循環器内科において、徐脈性不整脈にてA-ATP機能付きのペースメーカーを植え込まれた方で、かつ心房性頻脈性不整脈（心房細動又は心房頻拍）の既往のある方

⑥ **調査項目**：

- ・基本情報：生年月日、性別、BMI（肥満度を表す体格指数）、体表面積（身長・体重）
- ・心疾患に関する情報：NYHA分類（心不全の重症度指標）、心房性不整脈の有無、併存疾患、心疾患の既往歴、服薬歴、BNP値（心臓の機能を示す指標）
- ・A-ATP機能付ペースメーカー植込術に関する情報：初回植込日、交換日、心エコー・心電図結果
- ・カテーテルアブレーションに関する情報：アブレーション施行の有無、施行日、実施内容
- ・転帰 など

⑦ **研究の方法**：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。得られた情報は、名古屋市立大学 心臓・腎高血圧内科学へ提供され、集計・解析されます。

⑧ **研究成果の公開**

研究結果は、学会や学術雑誌にて公表予定です。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて症例調査票を作成します。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。

⑩ 利益相反

本研究に係る利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立東部医療センター 住所：〒464-8547 名古屋市千種区若水1丁目2番23号	循環器内科	村上 善正 TEL : 052-721-7171 (代表)